

案件1.

**八戸市次世代エール商品券
発行事業について**

目的

デジタル技術を活用して地域経済循環のための消費喚起を実施することで、民間事業者のデジタル化の促進や地域経済の活性化を図るとともに、地域が一体となって子育て・若者支援を推進するため、**県内初**のデジタル商品券となる「八戸市次世代エール商品券」を発行する。

消費喚起による
事業者・生活者の支援

民間事業者のデジタル化
によるサービス向上

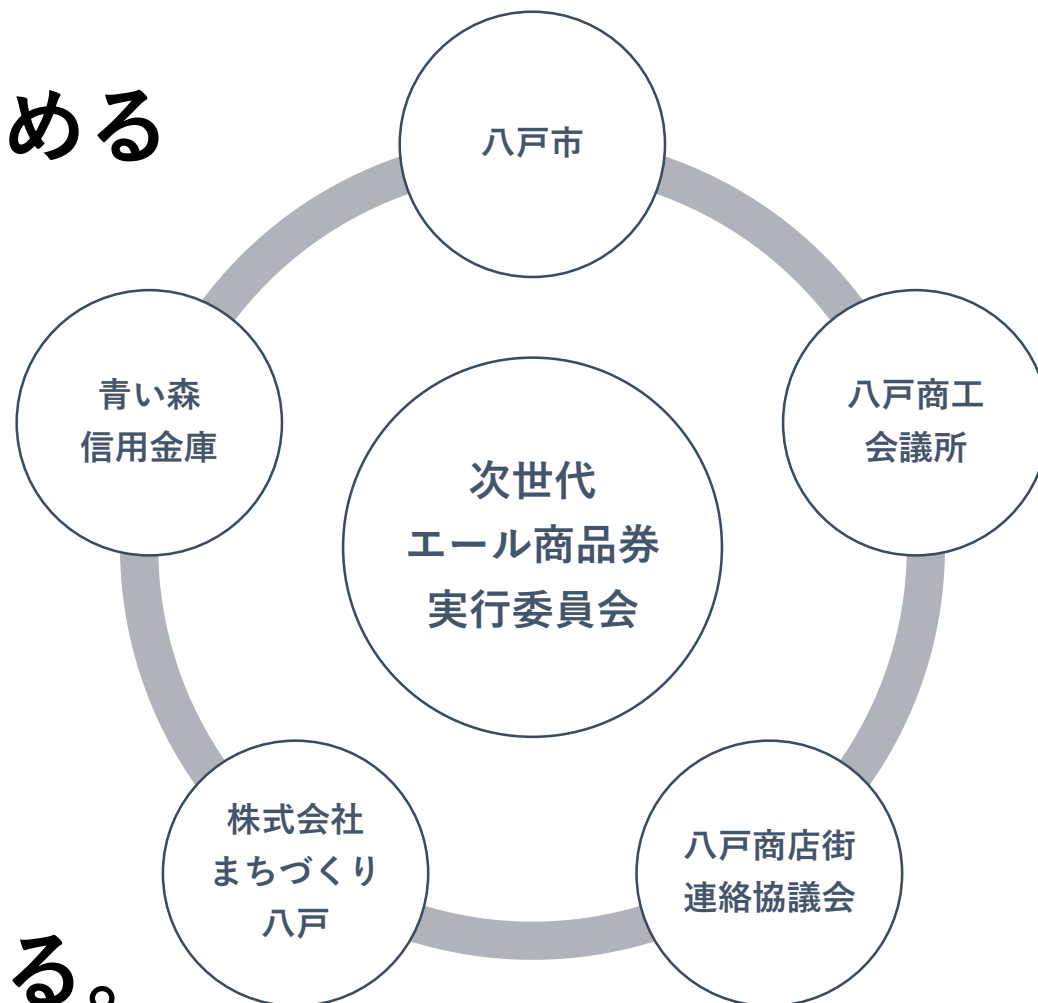
子育て・若者支援による
地元への愛着醸成

実施体制

地域が一体となって商品券事業を進めるため、

- ・ 八戸市
- ・ 八戸商工会議所
- ・ 八戸商店街連絡協議会
- ・ 株式会社まちづくり八戸
- ・ 青い森信用金庫

の5者が実行委員会を組織し実施する。



対象者

生年月日が
平成13年4月2日以降の
市民※1
約40,000名



生年月日が
平成13年4月2日以降の
市内大学等の学生※2
約2,000名

※1…令和5年4月1日時点で市内に住民登録がある方

※2…市内の大学・高専・専門学校等に市外から通学する方

発行内容

- 利用金額 **15,000円**
※プレミアム率は **50%**
- 販売金額 **10,000円**
- 発行口数 **約42,000口**
※対象者1人につき1口

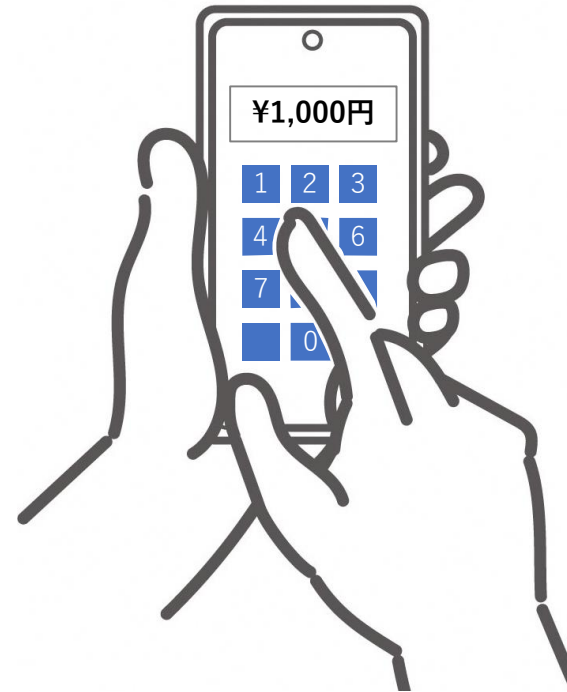
利用方法①

利用者が店舗の二次元コードを読み取る場合

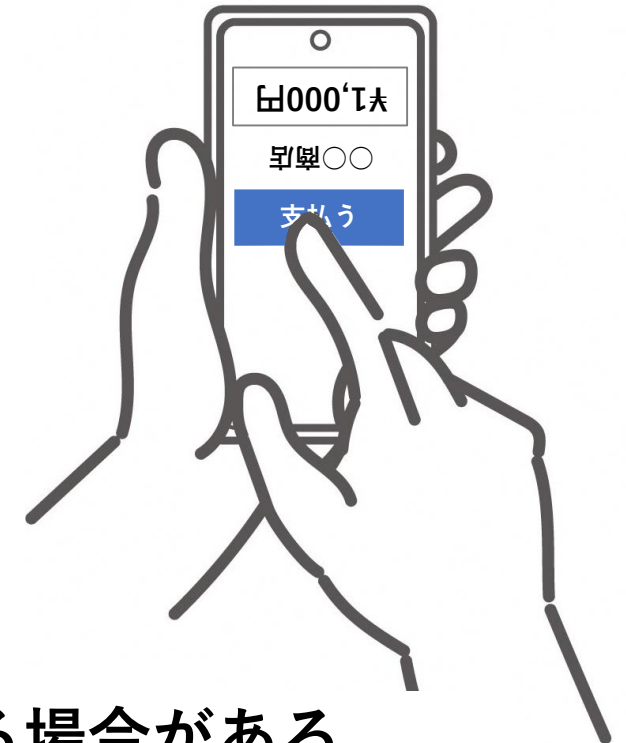
①二次元コードを読み取る



②金額を入力する



③お店の人に見せながら決済する



※現在、システム・アプリ等を開発中のため、今後変更となる場合がある。
最終的な方法については、8月下旬に発表する予定。

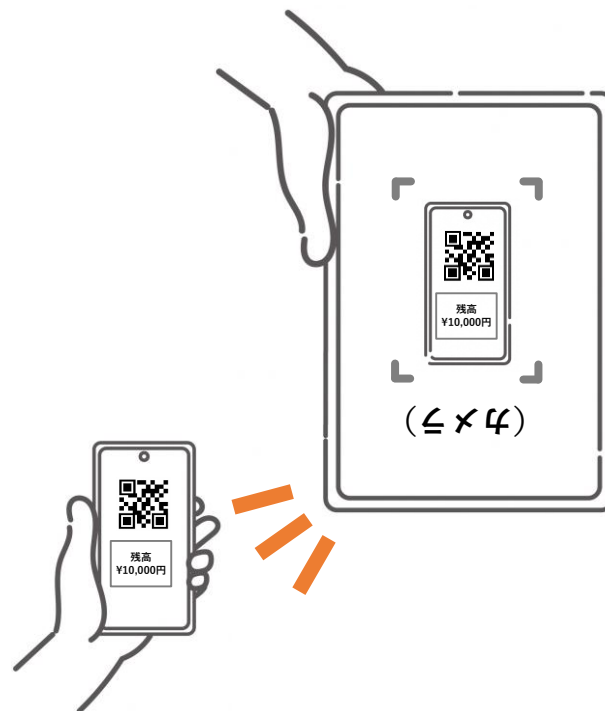
利用方法②

店舗が利用者の二次元コードを読み取る場合

①二次元コードを見せる



(店舗側で二次元コードを読み取る)



②金額を確認する



※現在、システム・アプリ等を開発中のため、今後変更となる場合がある。
最終的な方法については、8月下旬に発表する予定。

デジタル化のメリット

利用者

- アプリ上で商品券の購入、店舗での支払いができる。
- 利用明細や利用可能店舗をアプリ上で確認ができる。
- 商品券を1円単位で利用できる。
- 通知機能により使い忘れを防止できる。

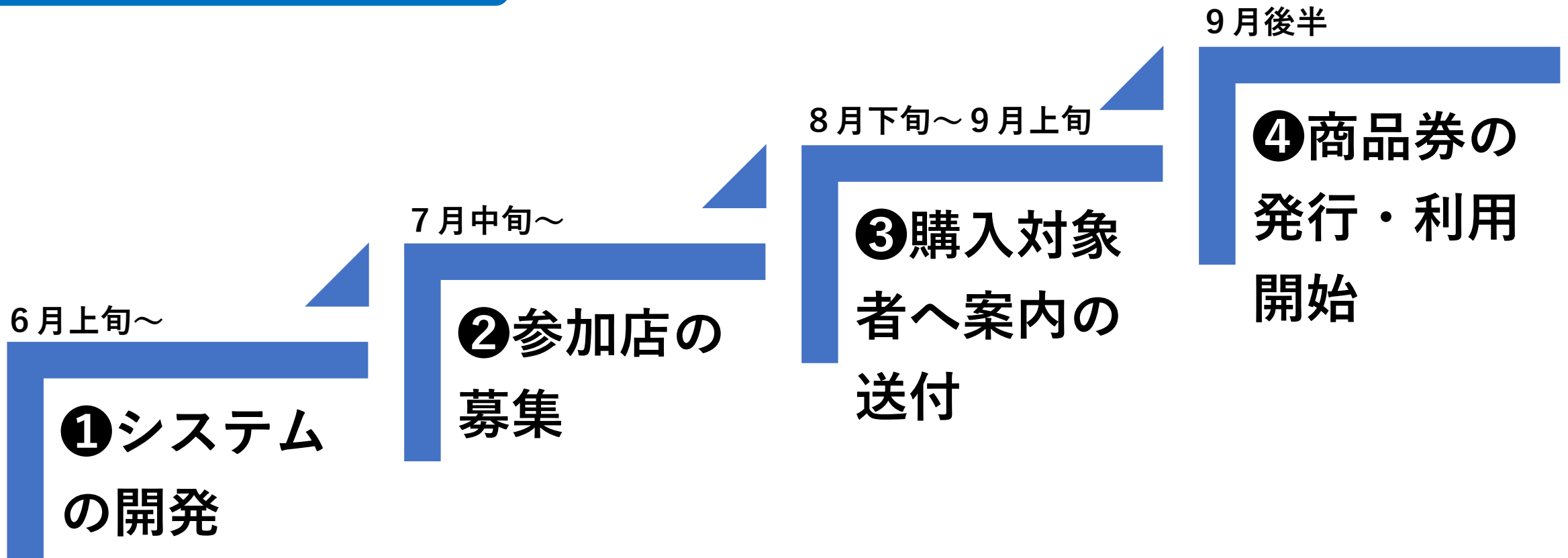
参加店

- 商品券の管理が不要になる。
- 売上をアプリ上で確認できる。
- アプリ上で精算を行えるため、商品券の枚数確認、事務局（金融機関）への換金請求が不要となる。

※アプリの利用を希望しない方には二次元コード決済用のカードを配布。

■ 八戸市次世代エール商品券の概要⑦

実施スケジュール



※商品券の購入方法等については8月下旬に発表予定

募集期間

- 7月中旬以降に募集開始予定。

周知方法

- 商工ニュース、新聞広告に掲載。
- 昨年度の参加店舗に案内を送付。

申請方法

- 特設ウェブサイトもしくはFAXで受付。

サポート体制

デジタル商品券を不安に思う事業者の皆様を対象に

●説明会の開催（7月頃予定）

●決済処理端末の購入支援（9月頃詳細発表予定）

など丁寧なサポートを実施する予定です。

参加店の皆様へ

- デジタル化に取り組みたいと考えている事業者
- 未来の消費者である子ども・若者を応援したいと思う事業者

この機会にぜひ参加してみませんか。

多くの事業者の皆様に参加をお待ちしています。